

歯学部附属病院における口腔インプラントの変遷

日本歯科大学附属病院口腔インプラント診療科

小倉 晋

当科は 1991 年 1 月に大学病院としては最初のインプラント専門の診療科として設立され、2024 年で開設 33 年目になる。設立以来インプラント希望患者のみならず高次医療機関として責務を担ってきた。

現在、インプラント治療は欠損補綴の第 1 の選択肢であるといっても過言ではない。しかし、未だ様々なトラブルに至っている症例・事例が散見される。インプラント治療に関わっている歯科医院は約 24,000 施設であり、最近 3 年間の当科新来患者を検索すると、特に問題を抱えていない患者を含め約 25%がインプラント治療の既往があった。

本講演では、大学病院での他院からの問題時の対応方法の概要、自院での合併症・偶発症の対応方法を例に挙げ、再度、安全安心なインプラント治療を行う際の検査診断、治療計画の重要性を確認するとともに歯学部附属病院として将来の歯科医療を担う人材に対して、どの様にインプラントに関する知識や技能および診療対応を習得させようと試みているかを講演する。